

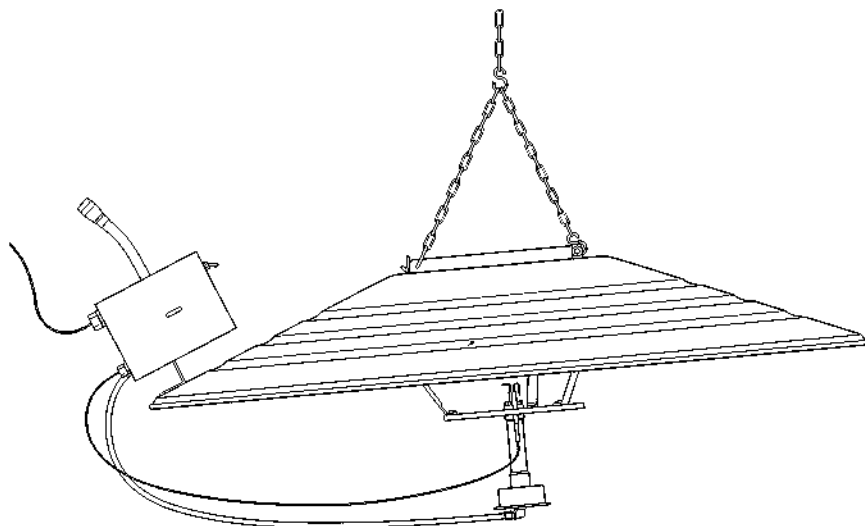
# 電気着火ブルーダー

鶏舎用 LPガス 暖房システム

要保管

## 取扱説明書

設置・工事説明書



このたびは当社の電気着火ブルーダー（以下、器具と表記します）をお買い上げいただき、ありがとうございます。安全にご使用いただくために、器具を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえでご使用ください。

- \* この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。
- \* ご不明な点がございましたら、当社または、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ガス配管工事および付帯設備の取付工事は、液化石油ガス設備士等の資格、電気配線工事は電気工事士等の資格が必要です。  
資格のある業者に依頼し、正しい工事を行ってください。

株式会社 **イシイ**  
ウィンドウ事業部

# 目次

---

1. ご使用の前に	
• 安全上のご注意	2～6ページ
• 各部の名称と仕様	7ページ
2. ご使用方法	8ページ
3. 点検・お手入れ	9ページ
4. 故障かな?と思ったら	10～14ページ
5. アフターサービスについて	15ページ
6. 器具の組立	16～19ページ
7. 設置・工事をされる方へ（設置・工事説明書）	
• 設置場所の確認	20ページ
• ガス配管施工事業者の方へ	20～22ページ
• 電気配線施工事業者の方へ	20・22ページ
8. 分解図・部品表	23～26ページ
9. 保証書	

# ご使用前に 安全上のご注意

\* ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

\* ここに示した注意事項は、器具を正しく安全にお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◎ 誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

## 危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者および購入者から器具を譲渡された人なども含みます。

## 絵表示の例



△記号は、**危険**が想定される内容や、**警告・注意**を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容がかかれています。

左図の場合は、「一般的注意」を示します。



分解禁止

○記号は、**禁止の行為**であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容がかかれています。

左図の場合は、「分解禁止」を示しています。



確認

●記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。

図の中や近くに具体的な指示内容がかかれています。

左図の場合は、確認をしていただく「指示」内容を示しています。

# ご使用前に 安全上のご注意

## 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

### ガス漏れ時の処置について



禁止

- ガス漏れに気がついたときは、すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じて、お買い上げの販売店または、ガス事業者に連絡してください。



火気禁止

- 処置が終わるまで、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は、使用しないでください。火や火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。

### 設置場所について



禁止

- この器具は鶏舎内に設置する家畜用の暖房器具です。人の居住する部屋や、鶏舎以外の気密性の良い建物などで使用しないでください。不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

### 異常を感じた時



危険

- 鶏舎内で、異臭・めまい・頭痛等の体に異常を感じた場合は、早急に鶏舎から出てください。  
一酸化炭素の発生または、酸素不足が考えられ、死亡事故を起こす可能性があります。鶏舎内の換気を十分に行ってから原因を調査してください。

## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が想定される内容を示しています。

### 使用ガス・電源について



確認

- 器具の銘板に表示されているガスの種類以外で使用しないでください。表示以外のガスで使用すると、爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- 器具の銘板に表示されている電源（電圧・周波数）以外で使用しないでください。他の電源で使用すると火災・漏電・感電・器具の故障の原因となります。
- ガス配管工事および、ガス供給に係わる付帯設備の取付工事は、液化石油ガス設備士等の資格のある業者に依頼してください。  
電気工事は資格のある電気工事店に依頼してください。  
工事の前に20ページ以降の「設置・工事をされる方へ」を必ず見せてください。  
ガス工事・電気工事に不備があると火災の原因になります。

# ご使用前に 安全上のご注意

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 高温部に注意



接触禁止

- 使用中、使用直後は、バーナ部やキャノピー、および器具の取付部品などの高温部には触れないでください。やけどのおそれがあります。

### 感電に注意



ぬれ手禁止



感電注意

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しや、運転操作をしないでください。感電のおそれがあります。

### ガスホースの配管について



禁止

- ガスホースは器具の近くに配管しないでください。器具に近づけたり触れたりすると、熱によりガスホースが劣化したり、溶けたりし、ガス漏れするおそれがあります。

### 点検について



高温注意

- 使用中、使用直後は器具の各部が熱くなっています。点検を行う際には、各部の熱が冷めていることを確認してから行ってください。また、必ず電源プラグをコンセントからはずしてください。

### 換気について



換気注意

- 運転中は、鶏舎内の一酸化炭素ガス濃度を考慮しながら燃焼を行い、長時間連続して使用する場合は、必ず定期的に換気をしてください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

# ご使用前に 安全上のご注意

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 設置上の注意



禁止

- 本器具は、鶏舎内に設置する器具です。以下の場所での設置・使用・保管は、さけてください。  
故障または、思わぬ事故の原因となります。
  - ・ 器具が確実・強固に吊り下げられないような場所。
  - ・ 雨、風、雪に直接さらされる場所。
  - ・ 使用後の点検・修理などができないような場所。
  - ・ スプレー、ベンジン、ガソリン、灯油や業務用薬品など、引火性の危険物がある場所。
  - ・ 雨天時に濡れたりするおそれのある場所。
  - ・ 天井や壁などの可燃物から適切な離隔距離がとれない場所。(21ページ参照)

### 修理について



分解禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に器具を分解したり、改造・修理しないでください。  
異常動作やけがなど、思わぬ事故の原因になります。

# ご使用前に 安全上のご注意

## お願い

危険・警告・注意の項目以外で、特に守っていただきたい内容を示しています。

### 運転時の注意

- 運転中はときどき正常に燃焼していることを確かめてください。また、鶏舎内の温度に注意し、家畜の状態を確認してください。  
ガス圧の低下等で正常に燃焼できないと、鶏舎内の温度低下により、家畜が死亡することがあります。

### 停電時の処置

- 使用中に停電すると自動的にガスが止まり燃焼を停止します。停電復帰時には、自動的に再度点火します。  
自動的に点火しますので、再通電時の点火操作には注意してください。

### 点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

### 運転停止時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火、および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

### 日常の点検・お手入れについて

- 点検・お手入れは、手袋などで指先を保護し、器具が十分に冷えてから行ってください。  
また器具に直接水をかけないでください。不完全燃焼や故障の原因となります。

### 長期間使用しない場合

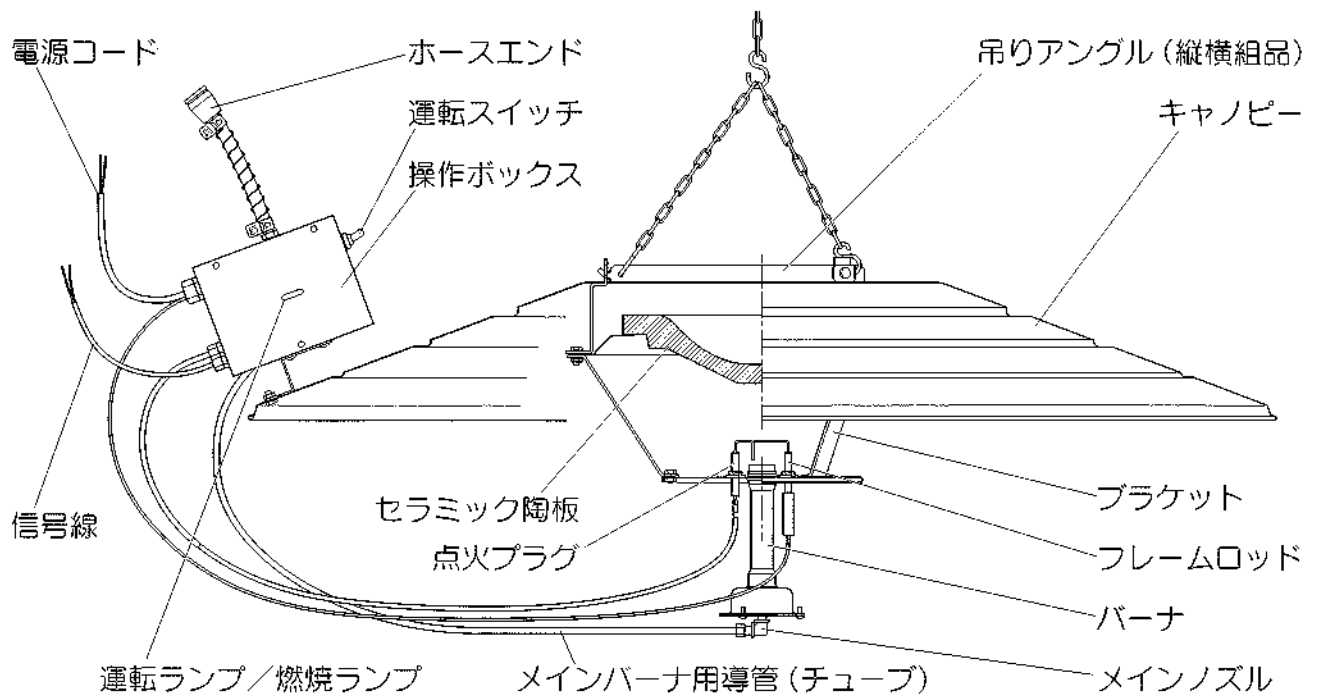
- 長期間使用しない場合は、ガス漏れを予防するためガス栓を閉じてください。  
ガスホースをはずした際には、必ずホースエンド(ガス接続口)にキャップをしてください。  
また、保管する場合、雨、風、雪に直接さらされる場所や、雨天時に冠水する場所での保管はしないでください。

### 定期点検について

- 器具を長期間安心してより長く使用していただくために、2～3年に一回程度の定期点検をおすすめいたします。(15ページ参照)

# 各部の名称と仕様

## 器具本体



## 仕様

項目		仕様	
商品名		電気着火ブルーダー	
型式 (自動点火装置)		DSI-A	
型式 (バーナ(S))		ISB-A	
基本仕様	ガス種	LPG (い号以上)	
	使用ガス圧力 (kPa)	2.8±0.5	
	ガス消費量 (kW)	8.14 (0.58kg/h)	
	かさ径 (mm)	1118	
	質量 (kg)	10.5	
	接続	ガス 入 口	9.5mmガスホース用ホースエンド接続
		ガス 出 口	W11 x 24山
		電 源	AC100V (50/60Hz)
	消費電力 (W) (運転時)	16 (50/60Hz)	
	消費電力 (W) (待機時)	5W以下	
運転制御仕様	操作方法	器具本体の運転スイッチにて操作	
	点火方法	連続スパーク式 (点火トランスによるダイレクト着火)	
	リトライ回数	4	
安全装置仕様	立消え安全装置	フレイムロッド式	
	失火検知時	赤・緑 LED 点滅	
燃焼仕様	燃焼形式	自然燃焼	
	メインバーナの形状	プレゼン式バーナ	
	ノズル径 (mm)	φ1.6×1個	
	電 磁 弁	二連電磁弁	



# ご使用方法

## 電源の投入

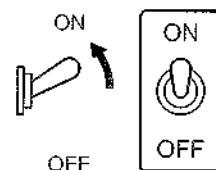
- 操作ボックスの運転スイッチが OFF (切) になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

## ガス栓を開く

- 器具へのガス接続が確実に行われていることを確認したのち、ガス栓を全開にしてください。

## 運転を開始する

- 運転スイッチを ON (入) にし、運転ランプ (緑色) が点灯することを確認してください。約3秒後に点火スパークが開始し、自動着火します。
- 着火すると燃焼ランプ (赤色) が点灯します。



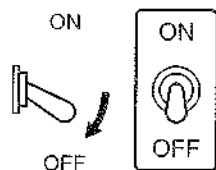
※ガス配管後に始めて着火するときや、長時間使用しなかった場合は、配管内に空気がたまり、不着火報知 (運転ランプと燃焼ランプが点滅) が作動し、着火しない場合があります。配管内の空気が抜けるまで (着火するまで) 運転スイッチを一旦 OFF (切) にし、約3秒後、再度 ON (入) にするという操作を繰り返してください。

※着火時には、燃焼状態を確認してください。

## 停止する

- 運転スイッチを OFF (切) にし、燃焼ランプおよび運転ランプが消灯し、バーナの炎が消火することを確認してください。

※確実に消火していることを確認してください。



# 点検・お手入れ

- 使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために、日常点検を定期的に行ってください。

点検の際には、必ず電源プラグをコンセントからはずし、器具が十分に冷えてから行ってください。



接触禁止

- 使用中、使用直後は、バーナ部やキャノピー、および器具の取付部品などの高温部には、触れないでください。やけどのおそれがあります。

## 日常の点検

点検箇所	点検のしかた	処置方法
器具の周辺の確認	器具の周りに燃えやすいものをおいていませんか？	取り除いてください。
ガス配管の確認	配管の腐食・損傷はありませんか？ ガス漏れによる器具や配管からのガスの臭いはありませんか？	お買い求めの販売店またはガス業者に連絡してください。
器具本体	運転中に器具からの異常音や不快な臭いなどありませんか？ 器具の外観に異常はありませんか？	

## お手入れのしかた

- 「操作ボックス」(器具) は防水仕様ではありませんので、鶏舎内を水洗洗浄する時には「操作ボックス」にカバーをして、水がかからないようにしてください。

※ベンジンやシンナーなどは、使わないでください。

器具の故障や表示類が消える原因となります。

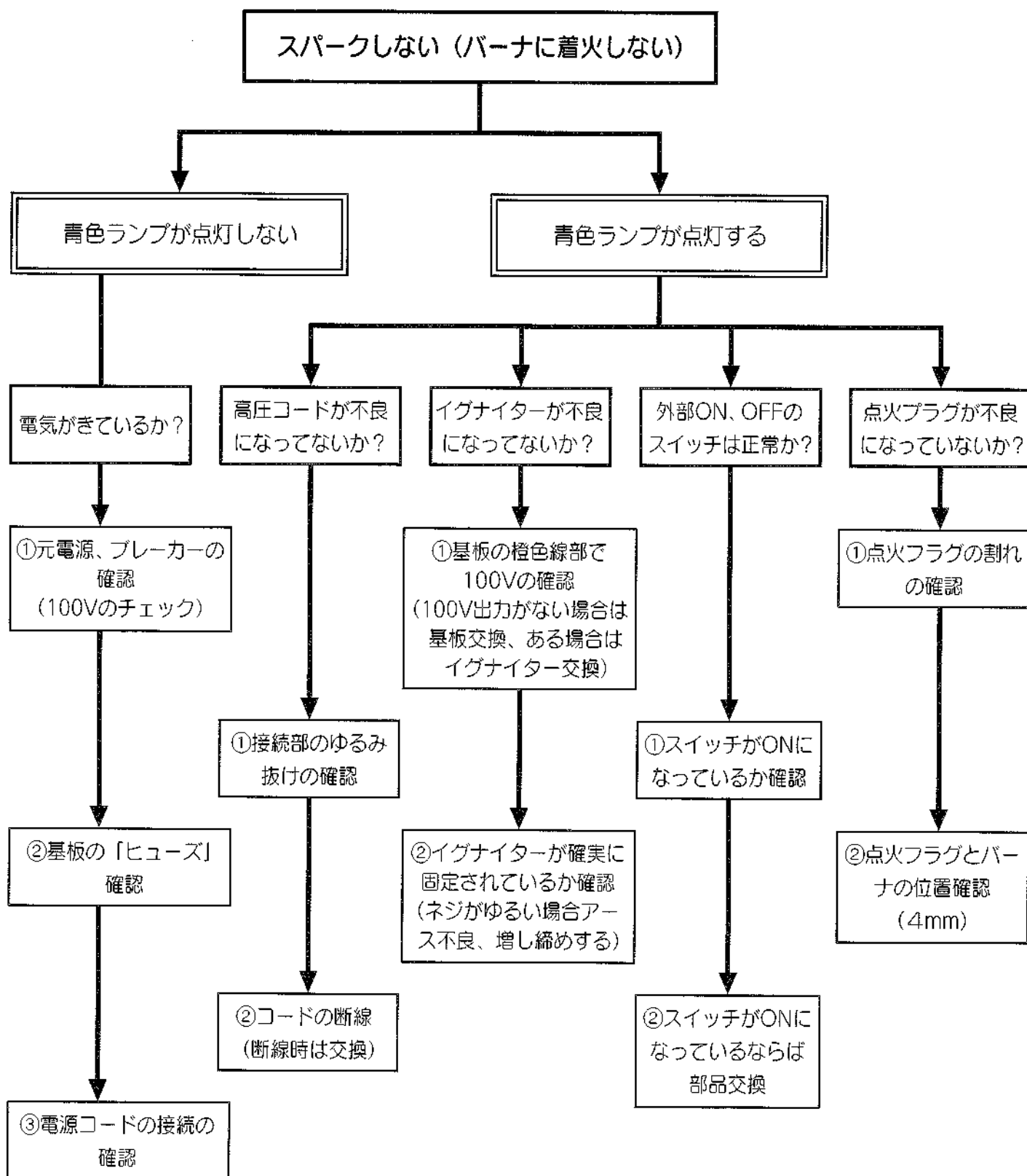


禁止

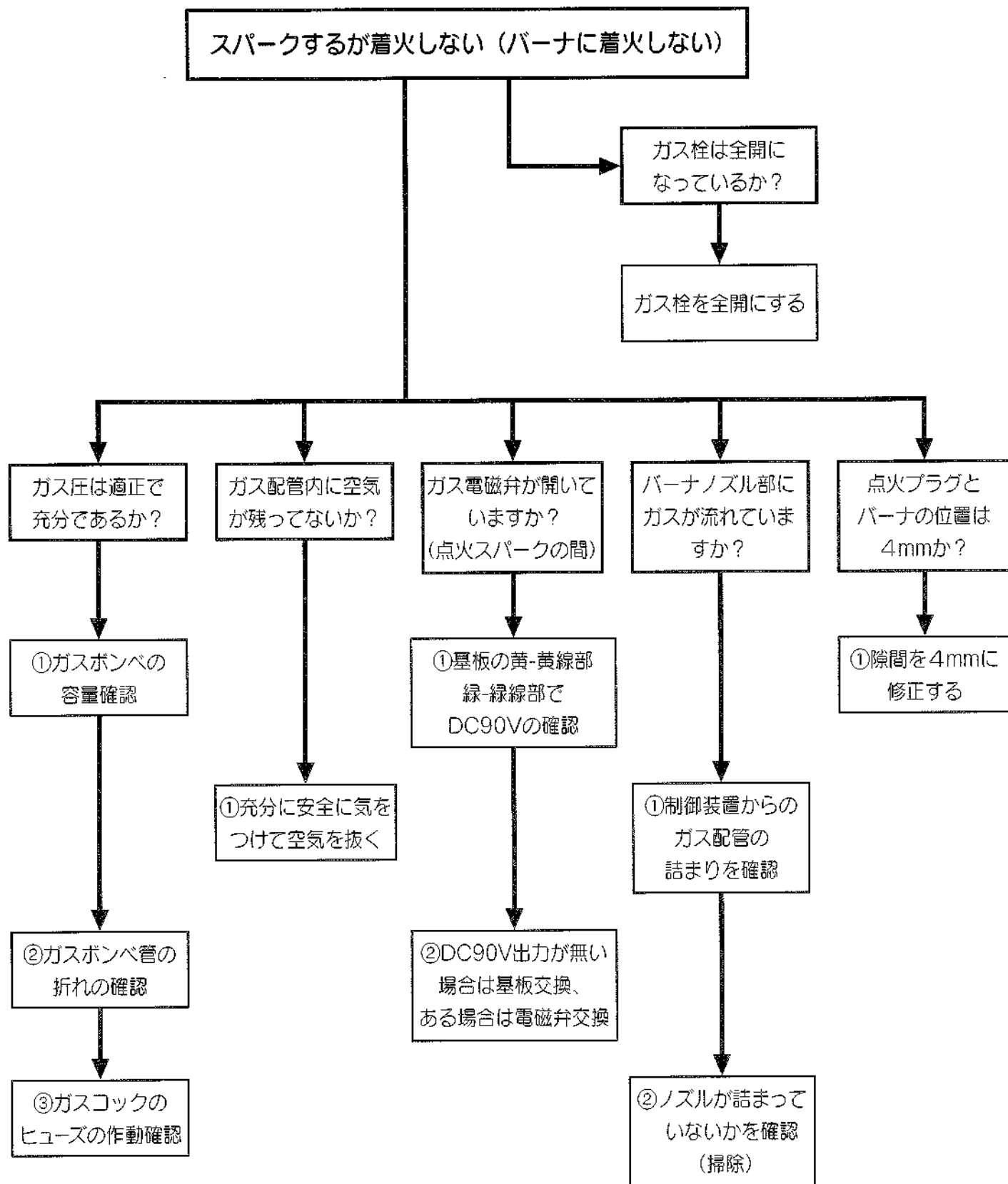
- 器具は防水仕様になっていません。  
器具に直接水や洗剤などを、絶対にかけないでください。  
故障の原因となります。

# 故障かな？と思ったら

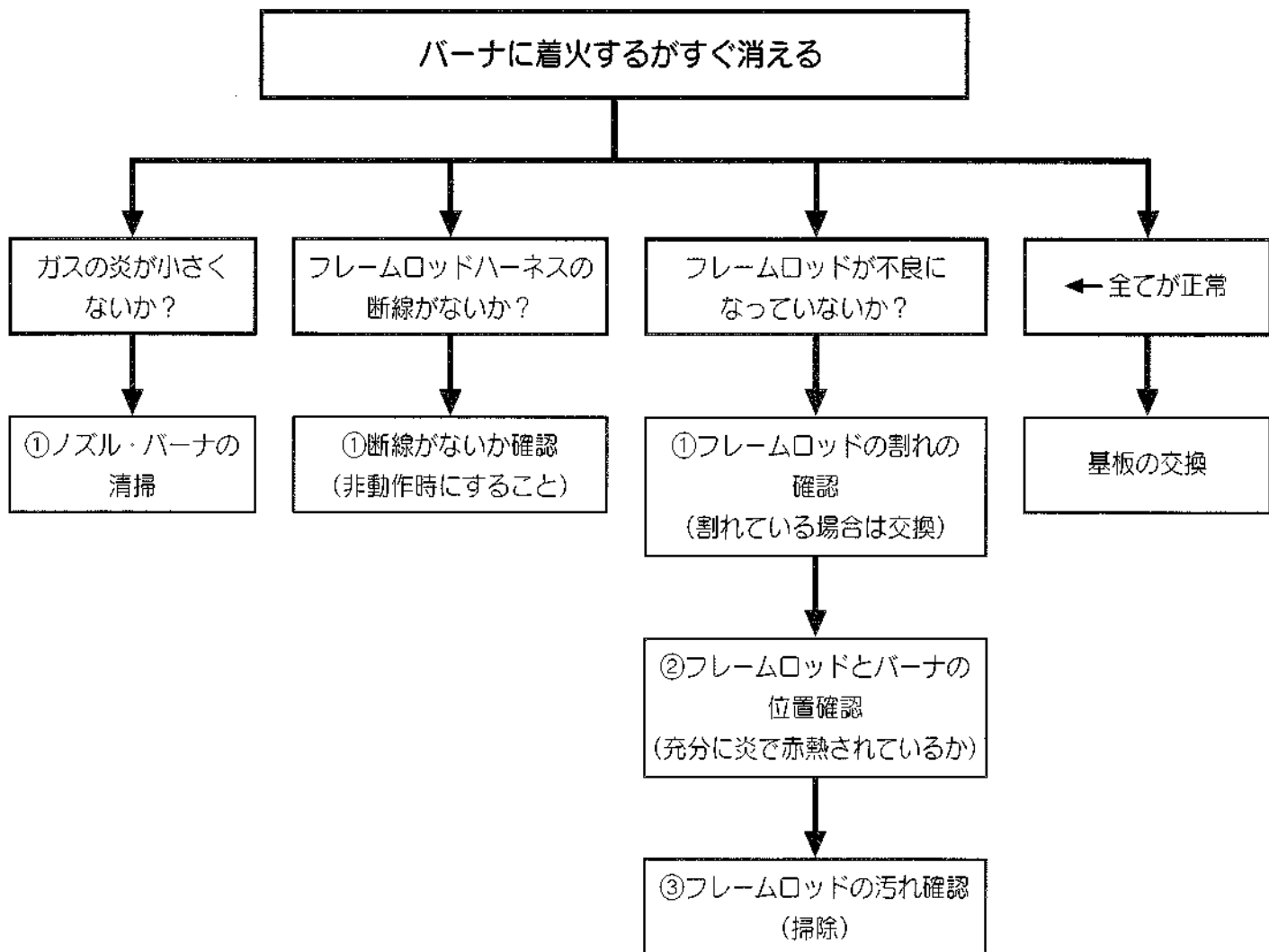
•故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。



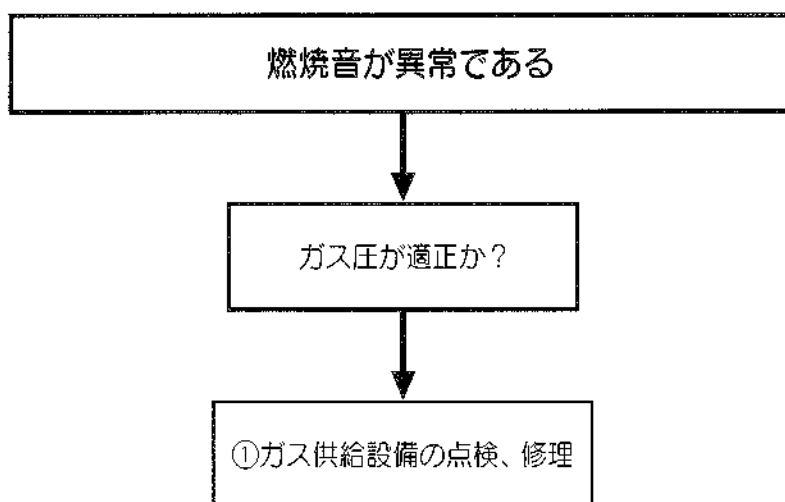
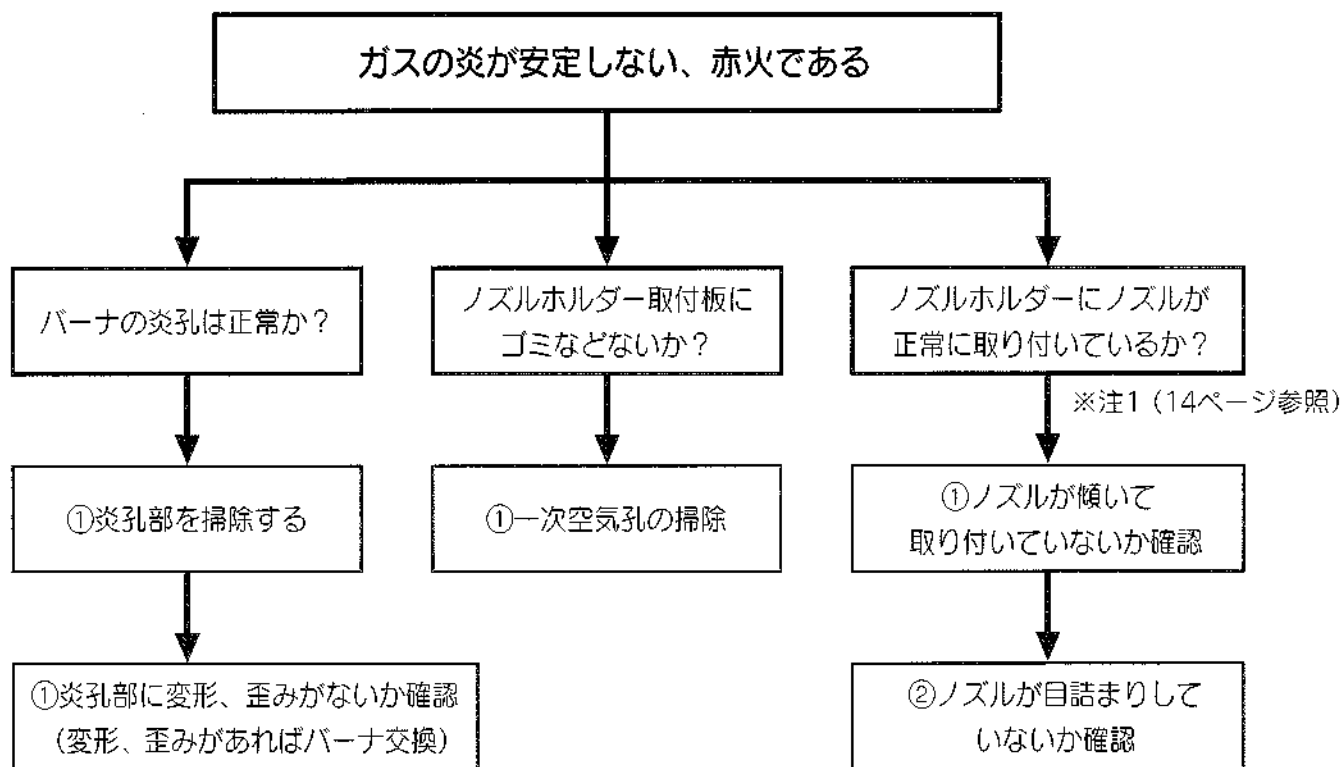
# 故障かな？と思ったら



# 故障かな？と思ったら



# 故障かな？と思ったら



# 故障かな？と思ったら

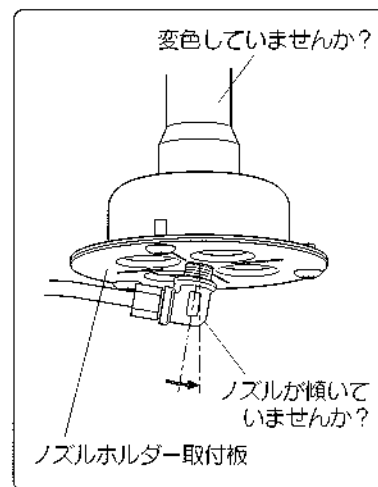
## 注1

ノズルホルダー取付板が変形していたり、ノズルが傾いて取り付けられていたりすると、次のような現象が起きることがあります。

- ガスの炎が安定しない。
- 赤火になる。
- ゴーという燃焼音がする。
- バーナのパイプ部が変色している。

これらの異常があるときは、ノズルがどの方向から見ても、ノズルホルダー取付板に垂直に取り付けられているかを確認してください。

- ノズルホルダー取付板が変形していたら、交換してください。
- ノズルをノズルホルダー取付板に垂直になるように、修正してください。



※器具を組み立てるときや設置時に落下等があると、ノズルホルダー取付板が変形したり、ノズルが傾いたりすることがあります。ノズル部に衝撃がかからないように注意してください。

# アフターサービスについて

## サービスのお申し込み

- 不具合、異常が起きたとき、修理を依頼する前に10～14ページの「故障かな?と思ったら」をみて、もう一度確認してください。

確認のうえ、それでも正常な状態に戻らない場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めの販売店、またはガス事業者に連絡してください。

なお、連絡されるときは、器具正面に貼っているラベルを確認し、下記のことを連絡してください。

1. 名称……電気着火ブローダー
2. 故障または異常の内容・問い合わせたい事項（できるだけ詳しく）
3. ご住所、お名前、電話番号、道順（できるだけ詳しく）

## 保証・補修について

- 器具の故障については保証書に記載されているように、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無償修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、保証書を大切に保管してください。

- 無償修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの弊社営業所にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理（有料）いたします。

## 定期点検のおすすめ(有料)

- 使用上支障のない場合でも長期間安全にご使用いただくために、定期点検を受けられることをおすすめいたします。

定期点検は、お買い求めの販売店または、もよりの弊社営業所にご相談ください。

この場合、有料となります。

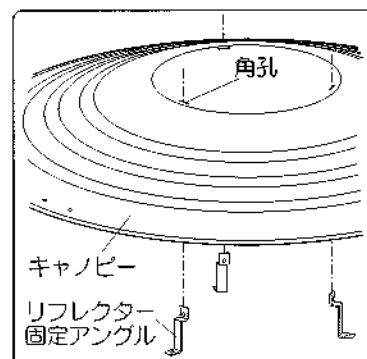


# 器具の組立

## 組立手順

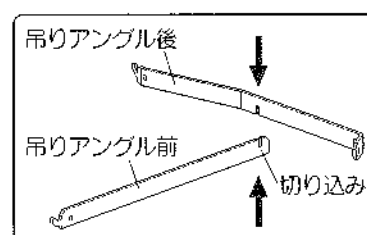
- 1) リフレクター固定アングルを、キャノピー上面3ヶ所の角孔に下側から差し込んでください。

※固定アングルの向きは、右図のように下部の水平面が外側を向くようにしてください。

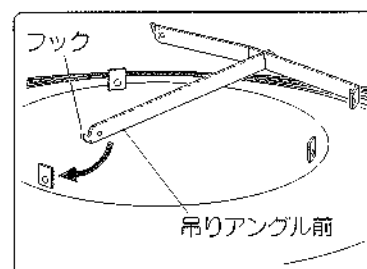


- 2) 吊りアングルを取り付けてください。

1. 吊りアングル前の切り込みと、吊りアングル後の切り込みを組み合わせてください。



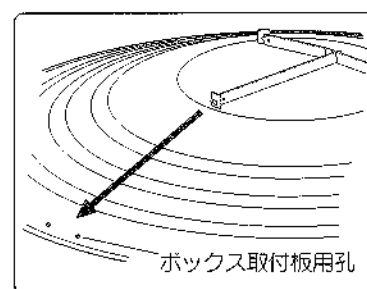
2. 吊りアングル前のフック部が、キャノピーのボックス取付板用の孔の方向に向くように、フックをリフレクター固定アングルの孔に差し込んでください。



※吊りアングルを取り付けるとき、取り付け方向に注意してください。取り付け方向を間違えると、器具を吊り下げたとき、正しく傾けることができません。

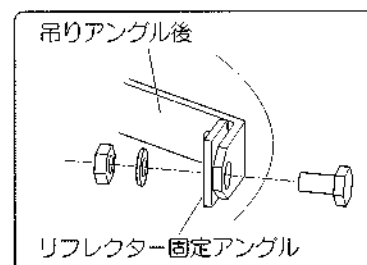


取付方向確認



3. 吊りアングル後のフックを、リフレクター固定アングルの孔に差し込み、もう一方をボルトとワッシャ・ナットで固定してください。

※吊りアングル後のボルト止め部は、リフレクター固定アングルの外側にくるようにしてください。

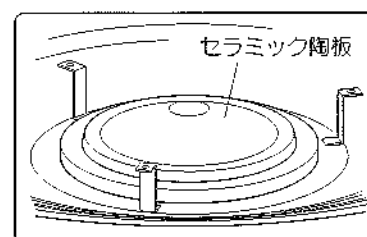


- 3) キャノピーを上下逆にしてください。

- 4) セラミック陶板をリフレクター固定アングル3本のセンターに、上下方向を間違えないように置いてください。

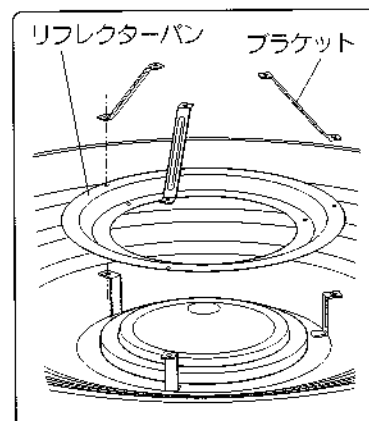


確認

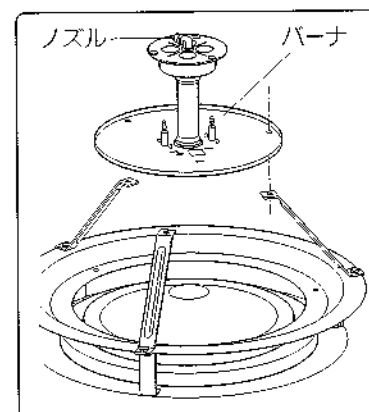


# 器具の組立

- 5) リフレクター固定アングルの上に、リフレクターパンを載せてください。
- 6) ブラケット3本をリフレクターパンの上に載せ、リフレクター固定アングルと共にボルト・ナットで固定してください。



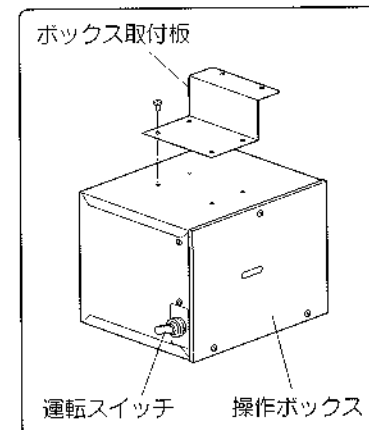
- 7) バーナをブラケットにボルト・ナットで取り付けてください。
- ※バーナを取り付けるとき、ノズルの開口部がボックス取付板用の孔の方向に向くように、取り付けてください。



取付方向確認

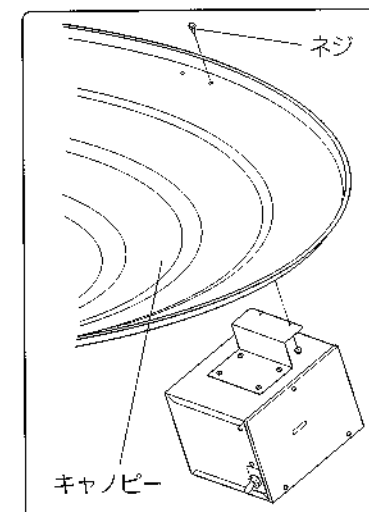
- 8) 操作ボックスに、ボックス取付板をネジ4点で取り付けてください。

※ボックス取付板を取り付けるとき、取り付け方向に注意してください。(右図のように、ボックス取付板の2つ孔の面が運転スイッチから、遠くなるように取り付けてください。)



取付方向確認

- 9) ボックス取付板が取り付けられた操作ボックスを、キャノピーに取り付けてください。
1. キャノピー側からネジを差し込み、ボックス取付板をナットで取り付けてください。
- ※取り付けるとき、各種配線を挟み込んだりしないように注意してください。



# 器具の組立

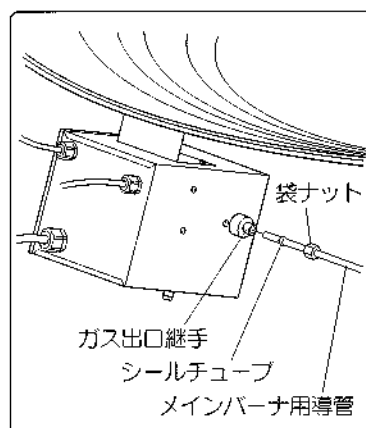
10) メインバーナ用導管(チューブ)を取り付けてください。

1.メインバーナ用導管の一方に六角袋ナットと、シールチューブ(ソロバン球)を差し入れて、操作ボックス背面のガス出口継手に取り付けてください。

※締め付けがゆるいと、チューブが抜けたり、ガス漏れすることがあるので、確実に締め付けてください。



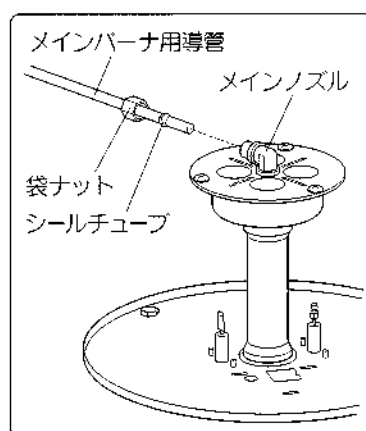
確認



2.メインバーナ用導管のもう一方にも六角袋ナットと、シールチューブ(ソロバン球)を差し入れて、メインノズルに取り付けてください。

ナットを締めるときは2本のスパナを用意し、ひとつのスパナでメインノズルを固定しながら、もうひとつのスパナで、ナットを少し強く締めてください。

※メインバーナ用導管は余裕を持たせるために、少し長めにしています。次ページの組立仕上がり例を参考に、大きなカーブでたるませてください。



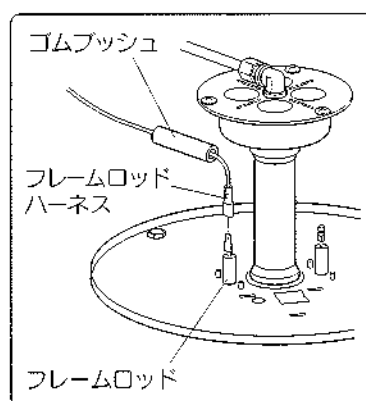
11) フレームロッドハーネス(ゴムブッシュ付)をバーナのフレームロッド端子部に差し込んでください。

端子を確実に差し込んだ後、ゴムブッシュをフレームロッドの硝子部に、できる限り深く差し込んでください。

※ゴムブッシュの差し込みが浅いと、鶏舎内を水洗洗浄するときに水滴が入り、故障することがあります。



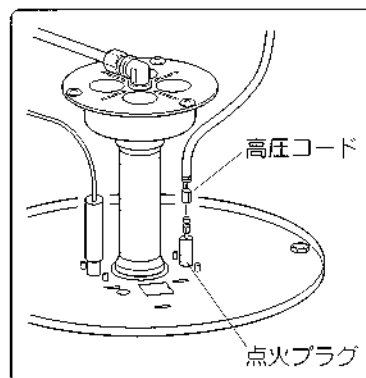
確認



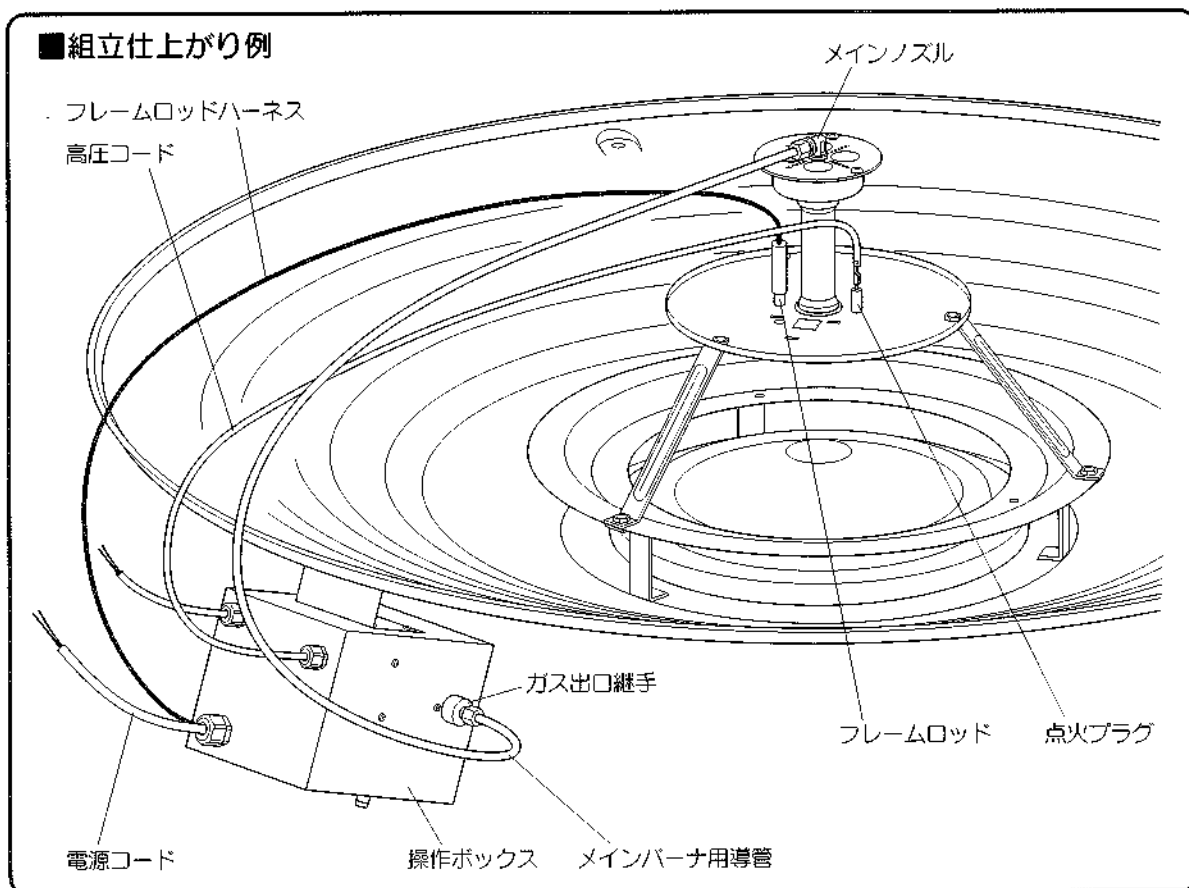
12) 高圧コードの端子を点火プラグの端子部に差し込んでください。

※端子を差し込むときは奥まで確実に差し込んでください。

※配線時、コード類が高温部に直接触れないように注意してください。



# 器具の組立



注意

- メインバーナ用導管は折り曲げないでください。  
角ができるような折り曲げをすると、燃烧不良やガス漏れの原因になることがあります。



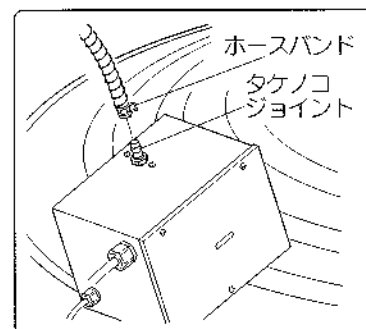
注意

- メインバーナ用導管をノズルや、ガス出口継手に取り付けるとき、チューブを損傷しない程度まで、強く締め付けてください。  
締め付けが緩いと、チューブが抜けたり、ガス漏れすることがあります。設置後、試運転をする前に必ずガス漏れのテストを行ってください。

13) メインバーナ用導管まで取り付けたら、組立が完了です。

器具を所定の場所に設置するまで、セラミック陶板を保護するために、セラミック陶板と、キャノピーの間に発泡スチロールなどを挟んで固定してください。（試運転の前に必ず取り外してください。）

14) ガスゴム管（別売）をタケノコジョイントの根元まで、差し込みホースバンドで容易に抜けないように、固定してください。



# 設置・工事をされる方へ

- ガス工事および電気工事は有資格者による正しい工事を行ってください。
- 施工・工事終了後は、必ずこの取扱説明書に従って操作し、試運転を行ってください。
- 設置工事終了後は、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明してください。また、この取扱説明書を必ずお客様に渡してください。

## 設置場所の確認

設置場所を決めるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談し、安全な場所に設置してください。
- 器具を吊り下げたときに、荷重に耐える強度のある場所に設置してください。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤・業務用薬品など）の近くに設置しないでください。
- 十分に換気のできる場所に設置してください。
- 雨・風・雪に直接さらされる場所や、雨天時に水がかかる場所には設置しないでください。
- 天井や壁などの可燃物から、適切な離隔距離がとれる場所に設置してください。（21ページ参照）

## ガス配管工事

- 使用されるボンベ容器の本数が少なかったり、配管が細かったりすると、器具への供給ガス圧が低くなり、不完全燃焼の原因となります。
- ガス配管中は器具に近い場所に必ずガスバルブ、圧力計を取付け、器具との接続は、ゴム管を使用してください。
- ゴム管はLPガス用ゴム管（検査合格マークまたは、JISマーク入り）を使用してください。
- 配管工事完了後は、気密検査を必ず行ってください。
- ゴム管接続は、必ずホースエンドの赤い線までゴム管を差込み、ホースバンドで固定してください。

## 電気工事

- 電源はAC100V（50Hz／60Hz）です。工事は電気工事店に依頼してください。
- 専用の漏電ブレーカーを必ず設置し、アース線も必ず取り付けてください。アースは「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い、有資格者がD種接地工事を行ってください。

# 設置・工事をされる方へ

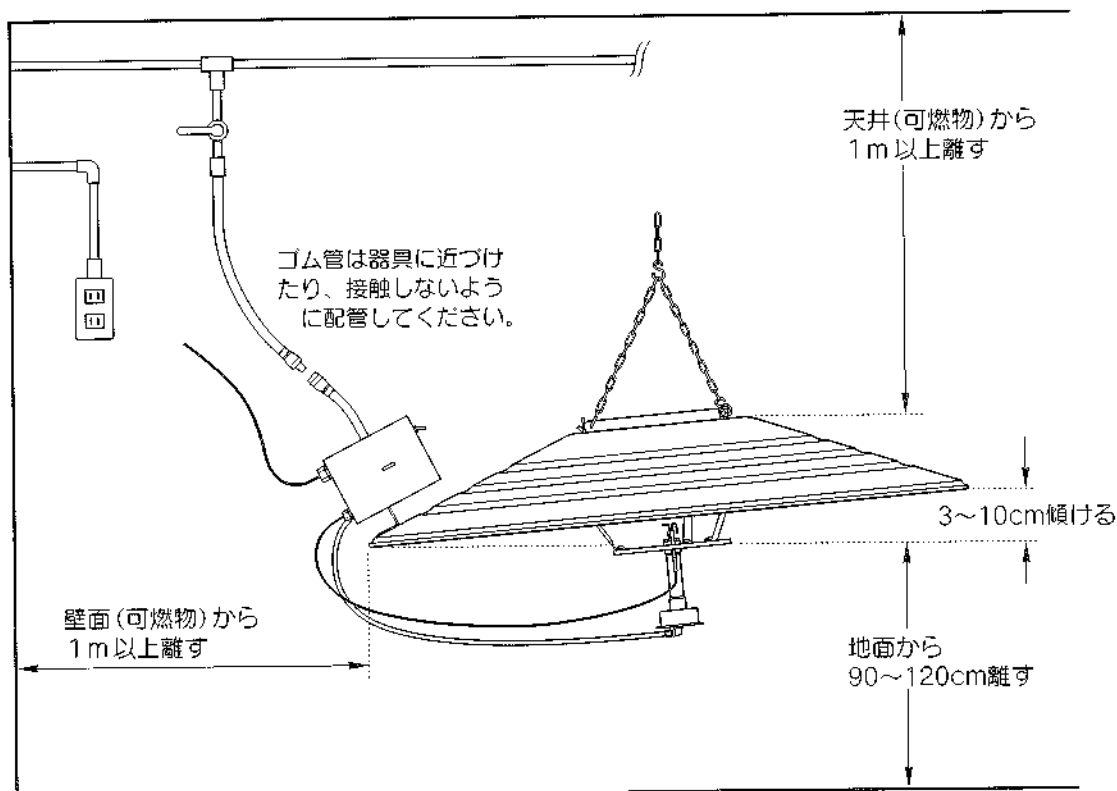
## ガス配管施工事業者の方へ

- ガス配管工事はガス供給事業者の指示に従ってください。

### 1. LPガスについて

- 1) LPガス(プロパン い号以上)を使用してください。
- 2) 使用ガス圧力は、 $2.8 \pm 0.5$  kPa ( $280 \pm 50$  mmH<sub>2</sub>O)です。  
家庭用低圧調整器を使用してください。
- 3) ガス消費量は一台あたり8.14 kW(0.58 kg/h)です。設置する器具の台数により消費量に見合った調整器を使用してください。

### 2. 設置例



### 3. 配管について

- 1) 配管工事は、液化石油ガス設備士の資格のある方が施工してください。
- 2) 供給設備(LP容器等)は、転落・転倒しないように設置してください。
- 3) 設置例のように配管は、15A(R1/2)以上の配管用鋼管を使用してください。
- 4) 配管は、容易に取りはずせないように施工してください。  
また、お客様に決して配管を取りはずしたりしないように指導してください。
- 5) 配管の末端の見易いところに、圧力計を設置してください。
- 6) 配管は鶏舎の上部に設置し、水や消毒薬の影響のないようにしてください。  
決して地面に、はわせたり、埋設したりしないでください。
- 7) 配管の末端には、ヒューズコックを使用してください。  
コックやガス元栓は、開閉状態がよくわかるように明示してください。

# 設置・工事をされる方へ

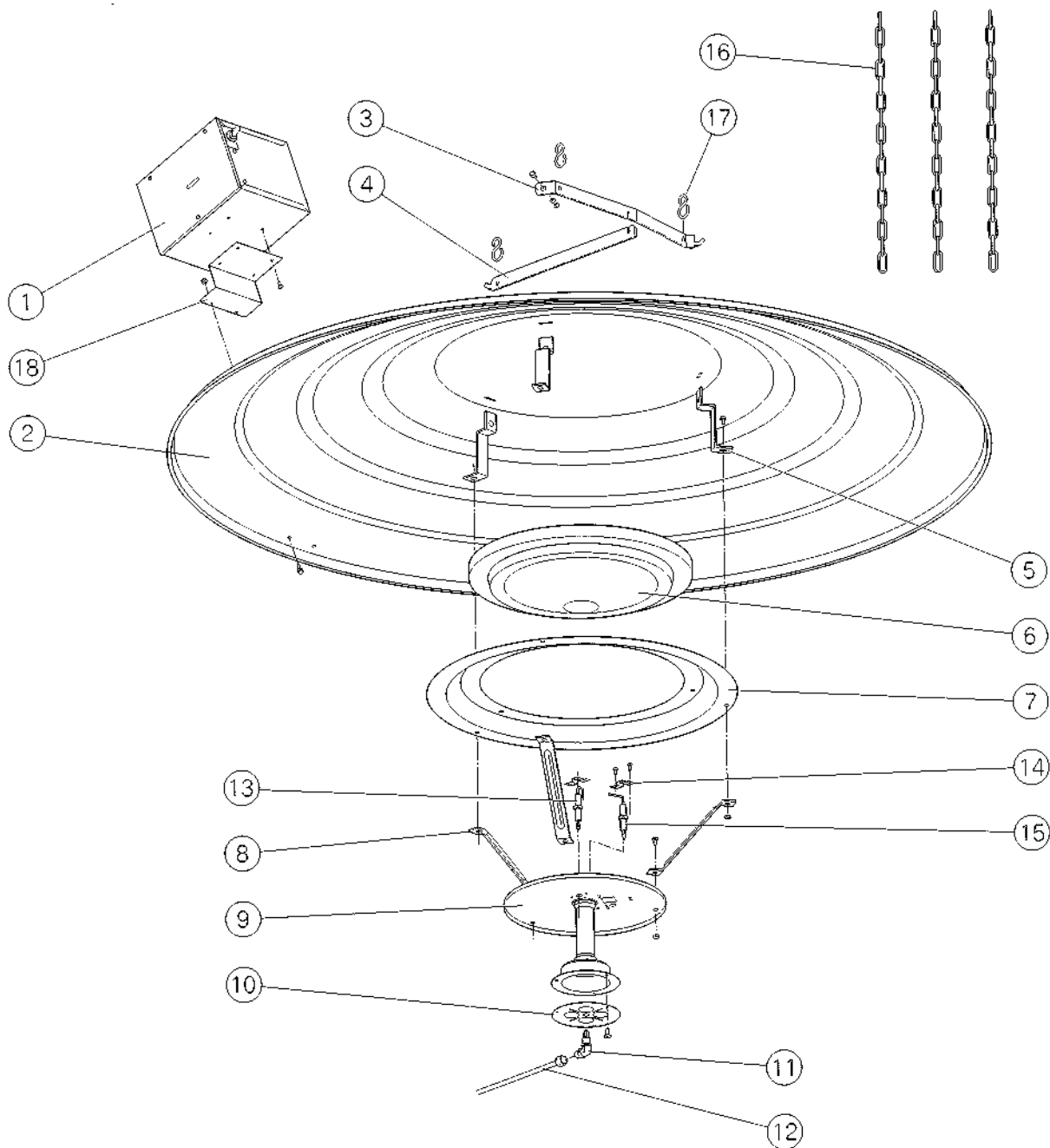
- 8) ガス配管と電気配線は、接触しないように施工してください。また、配管と電気コンセントは100mm以上離してください。
- 9) 配管と器具との間は、LPガス用ゴム管(検査合格マークまたは、JISマーク入り)を使用してください。
- 10) 配管の末端のホースエンドおよび、器具のホースエンドには必ずホースバンドを使用し、容易に抜けないようにしてください。
- 11) ゴム管が器具の燃焼部に近づかないようにしてください。
- 12) 配管やゴム管内に土、砂、ゴミなどが入らないように注意してください。  
電磁弁が閉じなくなったり、ノズルが詰まるなどガス漏れや異常燃焼の原因になります。
- 13) 設置例のように配管用鋼管または、フレキ管による施工がどうしても出来ない場合は、LPガス用ゴム管(検査合格マークまたは、JISマーク入り)を使用してください。
- 14) LPガス用ゴム管を使用する場合、ゴム管の継ぎたしや、二又分岐を使用することは、液化石油法により禁止されていますので、調節器の出口に分岐管(ヘッダー)を取付け、そこよりゴム管で器具一台ずつに接続してください。  
ただし一本のゴム管は、5m以内になしてください。圧損により不着火、立消え等の原因となります。
- 15) 器具の設置については、この取扱説明書の「安全上のご注意」「ご使用方法」等の項、および「設置・工事をされる方へ」の項をよく読んでください。
- 16) 配管および器具の設置後は、必ず液化石油法に定められた気密試験により、ガス漏れのないことを確認してください。
- 17) 配管および器具の設置後は、必ず空気抜きを行ってください。ヒューズコックが作動しないようにわずかつ空気抜きを行ってください。  
配管の一番遠い器具で、電源プラグを入れ運転させ、不着火で安全装置をはたらかせた後、運転スイッチを一旦OFF(切)にし、約3秒後、再度ON(入)にするという操作を3~4回繰り返すことで空気抜きができます。
- 18) 全器具を作動させたときに、配管の一番遠い器具のガス圧が指定通りになっていることを確認してください。

## 電気配線施工事業者の方へ

- 1) 使用電源はAC100V(50Hz/60Hz)です。
- 2) 消費電力は16W(50Hz/60Hz)です。
- 3) ガス管と電源コードなどの電気配線が接触しないように、施工してください。
- 4) 電気配線工事が終了するまで、器具の運転スイッチを操作しないでください。
- 5) 台数により消費電力に見合った漏電ブレーカーを設置してください。
- 6) 配線は鶏舎の上部に設置し、水や消毒薬の影響のないようにしてください。また決して、地面に、はわせたり、埋設したりしないでください。
- 7) コンセントとガス管は100mm以上離してください。
- 8) 電源コードは、器具のコードブッシュを通してください。
- 9) 電源コードが器具の燃焼部に近づかないように設置してください。

# 分解図

## 本体部

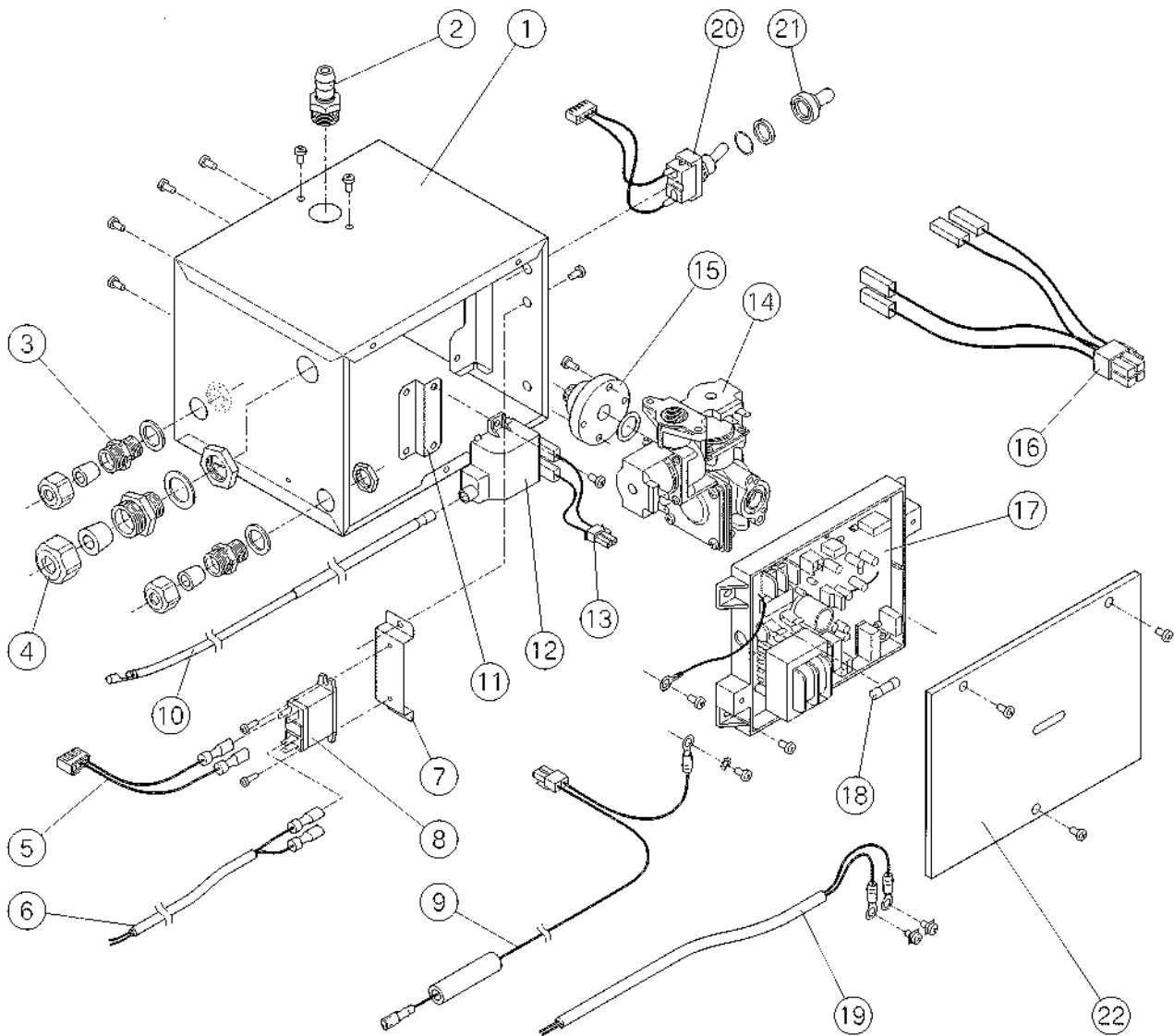


No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	操作ボックス	8	ブラケット	15	フレームロッド
2	キャノピー	9	バーナ (S)	16	チェーン
3	吊りアングル (後)	10	ノズルホルダー取付板	17	吊り下げ用Sカン
4	吊りアングル (前)	11	メインノズル	18	ボックス取付板
5	リフレクター固定アングル	12	メインバーナ用導管(チューブ)	19	
6	セラミック陶板	13	点火プラグ	20	
7	リフレクターパン	14	プラグ・ロッド押え板	21	



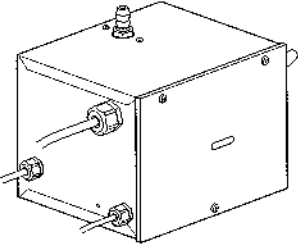
# 分解図・部品表

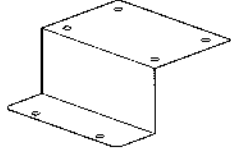
## 操作ボックス

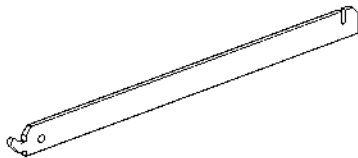


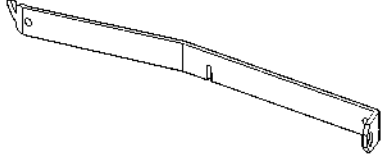
No.	部品名	部品番号	No.	部品名	部品番号
1	操作ボックス (本体)	61002-101S	12	イグナイター (S)	ACS-150XG
2	ガス入口継手	ASK76-500	13	点火トランスハーネス	61002-704
3	エスシーロック (SCL-6B)	SCL-6B	14	ガス電磁弁	UV12-10
4	エスシーロック (SCL-10A)	SCL-10A	15	ガス出口継手	61002-510
5	リレー用ハーネス	61005-707	16	ガス電磁弁ハーネス	61002-701
6	外部信号用ハーネス	61005-708	17	バーナコントローラ (S)	81860276-003
7	外部信号用リレー取付板	61002-107	18	ヒューズ (5A)	
8	リレー	G2R-1A-T	19	電源電線	61002-706
9	フレームロッドハーネス (ゴムブッシュ付)	61002-702	20	外部入力ハーネス (スイッチ付)	61002-705
10	高圧コード	61002-703	21	外部入力スイッチカバー	
11	イグナイター取付板	61002-103	22	操作ボックス (蓋)	61002-102

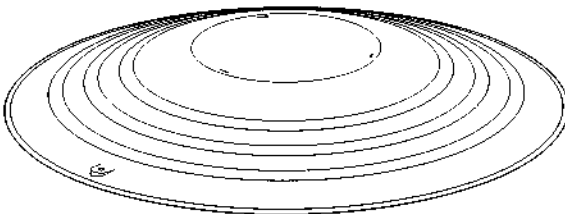
# 部品表

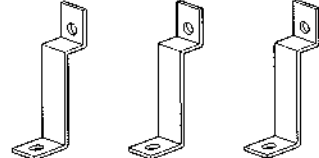
部品名	部品番号
操作ボックス	61002-101S
	

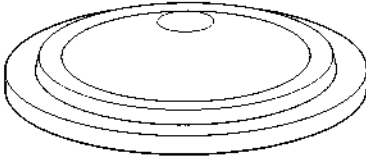
部品名	部品番号
ボックス取付板	61002-104
	

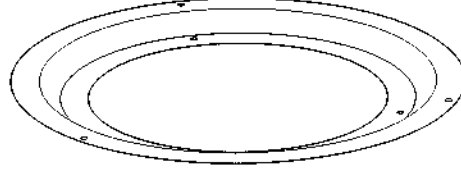
吊りアングル (前)	61003-103
	

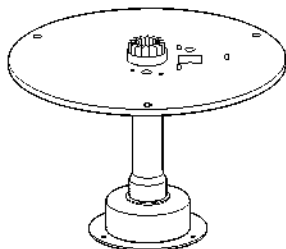
吊りアングル (後)	61003-104
	


キャノピー	61003-100
	

リフレクター固定アングル	61003-102
	

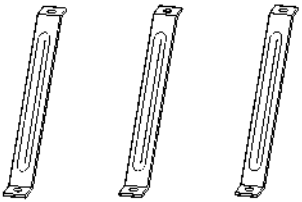
セラミック陶板	11152
	

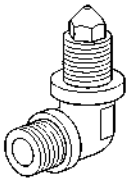
リフレクターパン	61003-101
	

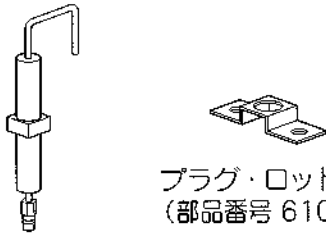
バーナ (S)	61003-402
	

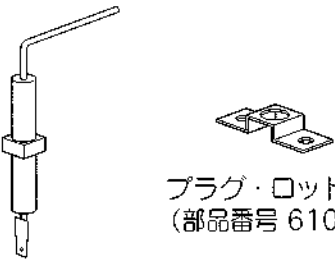
ノズルホルダー取付板	61003-405
	

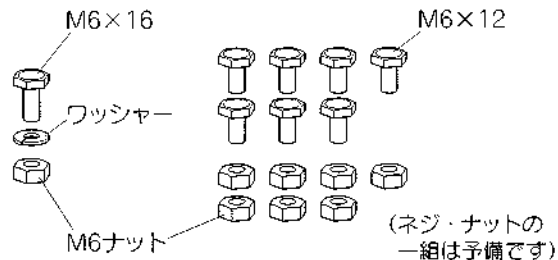
# 部品表


部品名	部品番号
ブラケット	61003-105
	

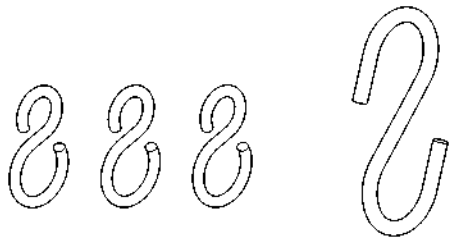
部品名	部品番号
メインノズル	61003-408
	

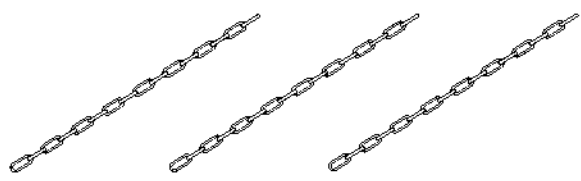
部品名	部品番号
点火プラグ	61002-770
 <p>プラグ・ロッド押え板 (部品番号 61002-105)</p>	

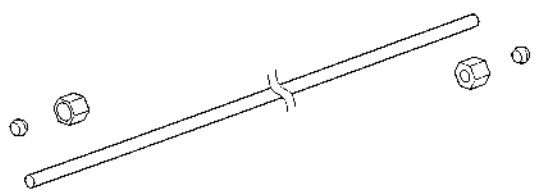
部品名	部品番号
フレームロッド	61002-771
 <p>プラグ・ロッド押え板 (部品番号 61002-105)</p>	

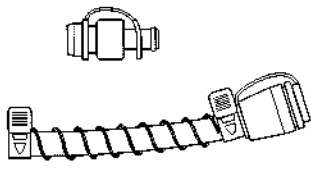
部品名	部品番号
組立用止めネジ	61003-412
 <p>M6×16 M6×12 ワッシャー M6ナット (ネジ・ナットの 一組は予備です)</p>	

部品名	部品番号
ボックス取付板用止めネジ	61003-413
 <p>操作ボックス側用 キャノピー側用 M5×10 M5ナット</p>	

部品名	部品番号
吊り下げ用Sカン	61003-414
	

部品名	部品番号
チェーン	61003-415
	

部品名	部品番号
メインバーナ用導管(チューブ)	(オプション)
	

部品名	部品番号
ガスタッチ オス・メス	(オプション)
	

# 保証書

## 電気着火ブルードー

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。お客様の正常な使用状態において万一、器具本体が故障した場合には、この保証書の記載内容で修理をいたします。

1. 保証期間 お買い上げの日から一年間

2. 保証規定

- (1)取扱説明書に従った正常な使用状態で、上記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店、または弊社に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。無料修理いたします。  
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- (2)本書は製品に対するものであり、製品の故障に起因する、付随的損害について保証するものではありません。
- (3)本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- (4)本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- (5)保証期間内でも次の項目による修理、点検交換は、有料になります。
  - ①異常ガス圧、異常電圧の供給事情等による故障および損傷。
  - ②使用上の誤りおよび不当な修理、改造等による故障および損傷。
  - ③使用者の故意および不注意によって生じた故障および損傷。
  - ④お買い上げ後、取り付け場所の移動、落下等による故障および損傷。
  - ⑤火災、塩害、地震、落雷、風水害、降灰、煤煙その他の天災・地変による故障および損傷。
  - ⑥ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入および行為に起因する故障および損傷。
  - ⑦注水、滴下水、浸漬、消毒薬散布および異常湿度等による故障および損傷。
  - ⑧熱による変色、洗浄水による錆等、設計仕様内の感覚的な現象の場合。
  - ⑨器具に表示してある以外のガスの種類、および電源(電圧・周波数)で使用された場合。
  - ⑩消耗部品の取替え、および保守等の費用。
  - ⑪本書の提示がない場合。
  - ⑫本書にお買い上げ年月日、お客様名の記入、販売店名の記入捺印がない場合、あるいは、字句が書き替えられている場合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料となります。

※本書は、上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

製品名	電気着火ブルードー		
保証期間	お買い上げの日から1年間		
製造番号	(器具本体に貼付の銘板に記載)		
お買い上げ日	年	月	日
お客様 ご住所	販売店 住所		
お名前	様	店名	
電話番号	-	-	電話番号 - -

株式会社 イシイ

〒779-3126 徳島県徳島市国府町矢野485  
TEL 088-642-1240 FAX 088-642-5700

発売元

株式会社 イシイ ウィンドウ事業部

東部：〒028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山4-138  
TEL 019-697-5235 FAX 019-697-5246

中部：〒776-0002 徳島県吉野川市鴨島町麻植塚 129-1  
TEL 088-322-8111 FAX 088-322-8112

西部：〒898-0061 鹿児島県枕崎市桜山町 62  
TEL 0993-73-5305 FAX 0993-73-5306